

2019年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	阿野 幸一
基礎ゼミのテーマ	英語を「学ぶこと」と「教えること」について考える —日本人が英語を身につけるための効果的な方法について、また、英語のコミュニケーション能力を伸ばす授業について、文献や授業の映像から考察し、理解を深める—
サブテキストなど	適宜、英語学習についての資料を配布し、小中高などで行われている優れた授業の映像を見ます。
お勧め対象	英語の学び方や教え方に興味を持っている学生。ゼミでの使用言語は、英語と日本語を使い分けて行います。

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	《異文化+国際理解の道具としての英語》 ✕ 私の未来 英語による発信力は言語の知識（単語や文法）+ WTC(=Willingness to Communicate/対話する意志力)+使用頻度（機会や環境）が鍵です。このゼミでは語彙力と WTC を高め、英語を使用する環境として、SDGs(持続可能な開発目標)を題材にミニ模擬国連を体験します。皆さん自身が世界につながり、自分の未来を描きながら学習スキルを楽しく学びませんか。
サブテキストなど	必要な教材を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. 国際理解の視点から英語を教えたい教師の卵。 3. 長期留学や夢のために英語力向上を願っている学生。

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	新聞を読む 社会を知る —新聞記事を持ち寄ってグループディスカッション・グループ発表・ディベートを行うことにより、社会を見る目を養う—
サブテキストなど	日刊新聞各紙(スポーツ紙は除く) インターネット版のプリントアウトでもよいが、検索機能によって記事を選んではいけません。
お勧め対象	世界と日本で起こっていることを幅広く知りたい学生。新聞を毎日読まなければならないと思っているが一人ではなかなか続かない学生。社会の動きについて、クラスで論じ合いたいと思っている学生。

担当者名	北野 マグダ
基礎ゼミのテーマ	Writing and research skills will be introduced through exploring the topic of how people can learn to speak a second language fluently. Students will try out different methods themselves, and report their findings formally.
サブテキストなど	Students will read both English and Japanese materials, to be assigned in class.
お勧め対象	Lessons will concentrate on English skills, so those already confident in their Japanese writing and researching skills are recommended.

担当者名	齊藤 功高
基礎ゼミのテーマ	世界の中の日本、日本の中の世界 —世界の現状と日本の立ち位置を学び、日本の中の国際化を調査し、それらに関するディベートを通して、今後の日本と自分の方向性を検討する—
サブテキストなど	新聞、雑誌、資料、ネットなどのデータを通して学習します。その他授業で使うテキストが出てくれば、その都度指示します。
お勧め対象	国際協力分野の学生でグローバルゼミナールの中の日本の針路に関心のある学生

2019年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	孫 美幸
基礎ゼミのテーマ	【地域に広がる学びの場再発見！】 学校だけが学びの場ではありません。美術館、博物館、図書館といった生涯学習施設から、地域のアートギャラリー、カフェ、食堂など、多様な場所があります。平和・公正・共生の社会に向けて、現在どのような学びの場があるのか、私たちが今後どのように創造できるのか、グループワークを通して一緒に考えてみましょう。
サブテキストなど	授業内で適宜資料を配布し、参考文献もお知らせします。
お勧め対象	地域の美術館、博物館、図書館、カフェや食堂などのイベントに関心のある方、生涯学習や社会教育の視点から多様な人々が支え合う平和な社会づくりについて考えたい方を歓迎します。

担当者名	千葉 克裕
基礎ゼミのテーマ	新書を講読しながら外国語習得のしくみについて基礎知識を学びます。それらの理論を自分の英語学習に反映させるとともに、興味のあるトピックを選び、文献の調べ方・レポートの書き方と発表の仕方を学びます。
サブテキストなど	「外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か」白井恭弘著 岩波新書 700円（税別）
お勧め対象	外国語はどんな順序で身についていくのか？どうやったら効果的に学んだり、教えたりできるのか？その仕組みに興味のある学生にお勧めです。

担当者名	山崎 裕子
基礎ゼミのテーマ	日常生活における素朴な疑問を「哲学」という視点で考えてみよう
サブテキストなど	プリントを配布します。 「ものを考えるとはどのようなことか」「哲学と科学」「哲学と宗教」などを取り上げる予定です。ゼミ生が順番で発表、一週間のニュースも交代で発表します。
お勧め対象	本を読むことと考えることが好きな学生。世界に目を向けて、物事の表面ではなく本質を知り、本物を見抜く力をつけたいと思っている学生。

担当者名	渡邊 暁子
基礎ゼミのテーマ	社会のダイバーシティ（多元価値社会）を推進するために 国籍や民族、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰にとっても住みやすい社会にするにはどうしたらよいか、国家という大きな枠組みだけではなく、法や社会組織、人と人とのつながりのあり方について、アメリカの大学の授業資料や、国内の文献、フィールドワーク、グループ発表、ディスカッションを通して理解します。
サブテキストなど	小泉康一、川村千鶴子（編著）『多文化「共創」社会入門』（慶應義塾大学出版会、2016年）、など
お勧め対象	「歩く・みる・きく」が好きで、異文化理解、文化交流、国際協力等に関心を持つ学生。 ※9月28日（土）には、グローバルフェスタ（@お台場）でフィールドワークを実施する予定です。